

民間活用（川崎版PPP）推進方針

～最適な市政経営の実現に向けて～

令和6年2月22日

川崎市

総務企画局 行政改革マネジメント推進室

民間活用担当 大平 博司

川崎市の概要

■ 位置・地勢



■ 基礎情報

面積

144.35 km²

指定都市中最もコンパクト

人口 (R6.1.1現在)

154万5,711人

指定都市中 第6位

人口密度 (R6.1.1現在)

10,708人 / km²

指定都市中 第2位

■市制100周年記念事業

市民・企業・団体の皆様と一緒に記念事業を盛り上げていくため、実行委員会※を設立し、「ロゴマーク」や15の「Actionテーマ」を設定しました。15の「Actionテーマ」を目印に、共創による新たな可能性を探りながら、350を超える団体に参画いただいている実行委員会をはじめ、多くの方々とともに、改めて、川崎を「知って」「関わって」「好きになる」取組を進めています。

※川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会(令和4年9月1日設立)

【ロゴマーク】

COLORS,
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



【15のActionテーマ】



■全国都市緑化かわさきフェア

●目的

令和6(2024)年に迎える川崎市市制100周年を契機に、その象徴的事業として「全国都市緑化かわさきフェア」を開催し、“川崎らしいみどり”を全国に向けて発信していきます。

●取組概要

ア 名称・愛称

<名称> 第41回全国都市緑化かわさきフェア <愛称> 「Green For All KAWASAKI 2024」

イ 主催者等

提 唱 国土交通省

主催者 川崎市、公益財団法人都市緑化機構

実施主体 川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

ウ 開催期間

令和6年10月19日(土)～11月17日(日) (30日間)

令和7年 3月22日(土)～ 4月13日(日) (23日間)

エ 会場

コア会場 富士見公園、等々力緑地、生田緑地

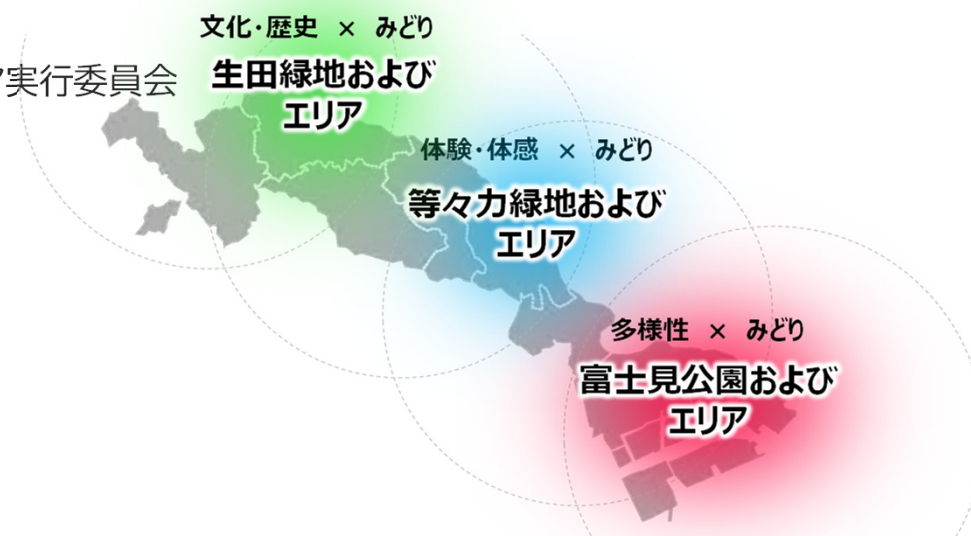
コア会場周辺エリア及びまちなかみどりスポット

公園緑地、駅前広場、道路、河川、庁舎、商業施設、商店街など



Green For All
KAWASAKI
2024

第41回 全国都市緑化かわさきフェア
シンボルマーク



3つのコア会場およびエリアのコンセプト

市内全域を会場と見立て、まちを彩ります

1 民間活用（川崎版PPP）推進方針の概要

2 優先的検討プロセス

3 優先的検討プロセスを支える仕組み

- ▶ ① 民間との対話
- ▶ ② 情報発信
- ▶ ③ 民間提案
- ▶ ④ 地域経済活性化

4 方針の優れている点

5 民間活用の実践事例

6 最後に

1 民間活用（川崎版PPP）推進方針の概要

2 優先的検討プロセス

3 優先的検討プロセスを支える仕組み

- ▶ ① 民間との対話
- ▶ ② 情報発信
- ▶ ③ 民間提案
- ▶ ④ 地域経済活性化

4 方針の優れている点

5 民間活用の実践事例

6 最後に

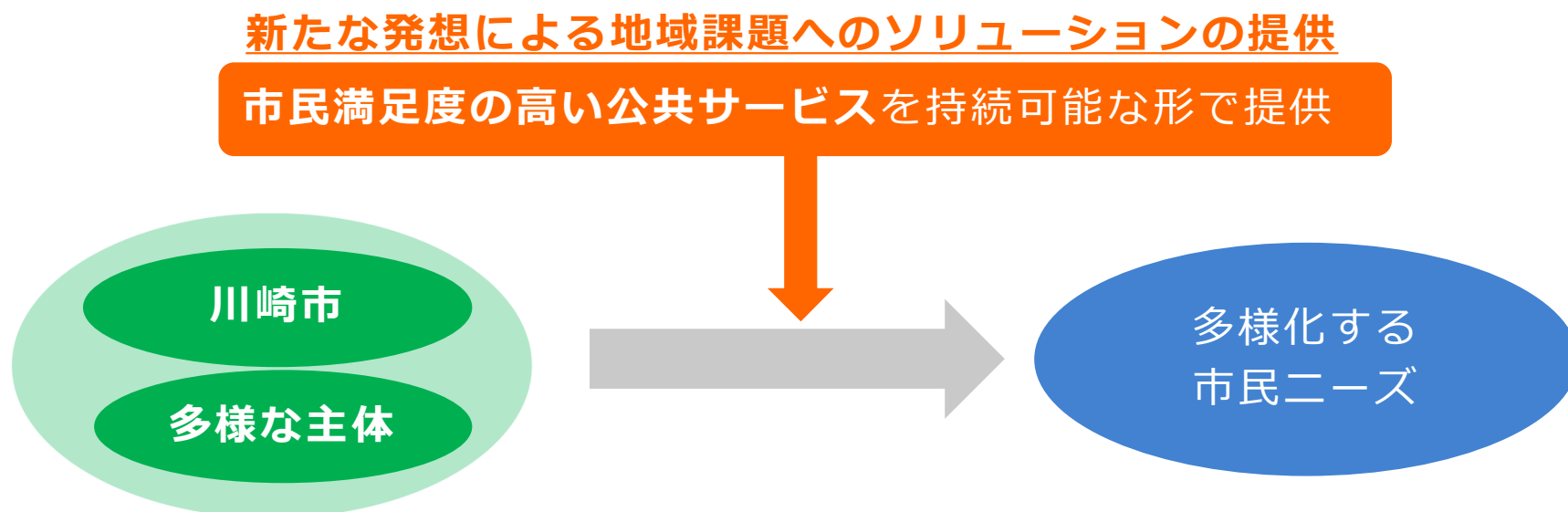
1 民間活用（川崎版PPP）推進方針の概要

■ これまでの民間活用の考え方

- 効率的な職員配置（量的改革）
- 「民間部門」：公共サービスの提供主体 ⇔ 「行政」：管理・監督者
- 「民間部門」は、施設運営や市民サービス提供の補完的な役割

■ これからの民間活用の基本姿勢

- 民間をより最適な公共サービス実現のための**重要なパートナー**として再認識し、本市と民間が、「公共」を共に担い、共に創り上げていく



1 民間活用（川崎版PPP）推進方針の概要

■ 法令改正等の環境変化を踏まえた取組の推進

P F I 法の改正

平成23年6月	<ul style="list-style-type: none">・ P F I 事業対象施設の拡大・ 民間事業者による提案制度の導入・ 公共施設等運営権（コンセッション方式）の導入
平成25年6月	<ul style="list-style-type: none">・ 民間資金等活用事業推進機構（PFI推進機構）の設立
平成27年9月	<ul style="list-style-type: none">・ コンセッション事業者への公務員派遣制度の導入

民間活用に関する新たな動向

多様なPPP/PFI手法導入を優先的に検討するための指針

- ・ 「優先的検討規定（多様なPPP/PFI手法の導入が適切かどうかを自ら公共施設等の整備等を行う従来型手法に優先して検討するための手続及び基準等）」の策定要請

都市公園法の改正

- ・ 「公募設置管理制度」（Park-PFI）の新設

成果連動型民間委託契約（PFS：Pay for Success）方式による事業の普及

- ・ あらかじめ合意した成果目標の達成度合いに応じて支払額が変わる契約
- ・ 健康福祉分野においてソーシャルインパクトボンド（SIB）などによる事業が実施

1 民間活用（川崎版PPP）推進方針の概要

■ P F I 法第 6 条に基づく民間提案



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

平成 31 年 3 月 8 日

報道発表資料

等々力緑地再編整備事業に関して 民間事業者から提案が提出されました (PFI 法第 6 条第 1 項に基づく民間提案)

等々力緑地においては、民間活用を踏まえた公園のさらなる魅力向上に向けた検討を行っているところですが、今般、東京急行電鉄株式会社から、等々力緑地再編整備事業に関する P F I 法第 6 条第 1 項に基づく提案の提出がありました。

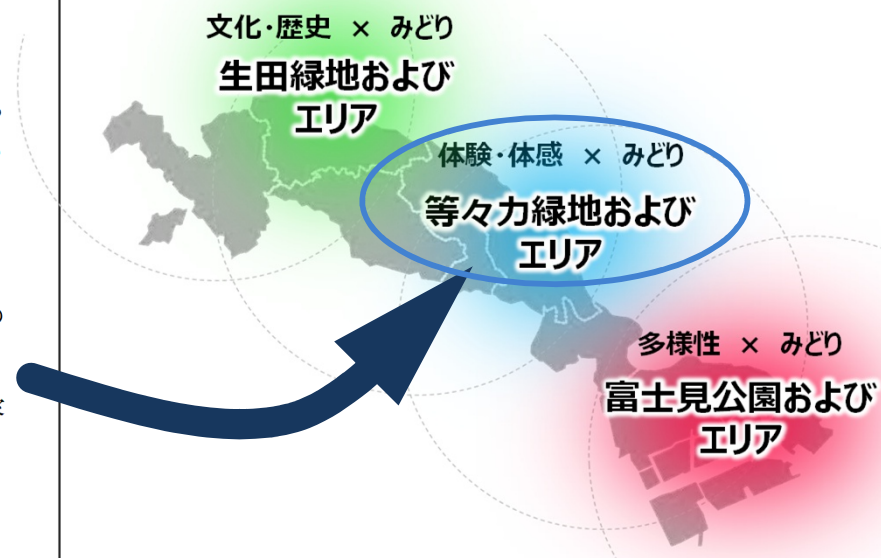
この提案は、公共施設の管理者（本提案においては「川崎市」）に対し、民間事業者が法律に基づいて P F I 事業の実施を提案できる制度であり、提案を受けた公共施設の管理者は、遅滞なくその案を検討し、検討結果について、提案した民間事業者あてに通知するものとされています（別紙[参考資料](#)参照）。

今後、当該事業者から提案いただいた内容について、知的財産等に配慮しながら提案内容の妥当性を検証し、提案に対する本市の方針を検討してまいります。

1 経緯

- 平成 30 年 11 月 6 日（火） 等々力緑地再編整備事業における「マーケットサウンディング」の開始
- 平成 30 年 12 月 10 日（月） 東京急行電鉄株式会社（以下、「提案者」）とのマーケットサウンディングにおける個別対話にて、P F I 法第 6 条第 1 項に基づく民間提案の提出に関する示唆を受ける。
- 平成 31 年 2 月 28 日（木） 提案者より民間提案の提出、提案書の形式的な審査開始
- 平成 31 年 3 月 7 日（木） 提案者への提案書の受理の通知（審査・検討の開始）

公園としては 日本初の民間提案



全国都市緑化かわさきフェア
3つのコア会場およびエリアのコンセプト

① 民間活用（川崎版PPP）推進方針の概要

② 優先的検討プロセス

③ 優先的検討プロセスを支える仕組み

- ▶ ① 民間との対話
- ▶ ② 情報発信
- ▶ ③ 民間提案
- ▶ ④ 地域経済活性化

④ 方針の優れている点

⑤ 民間活用の実践事例

⑥ 最後に

2 優先的検討プロセス

■ 本市における優先的検討プロセスの独自性

(1) 国指針よりも幅広い事業を対象

【参考】PPP/PFI 優先的検討指針（内閣府）

対象事業は、次の①及び②の両方を満たすもの

- ① 民間事業者の資金、経営能力及び技術的能力を活用する効果が期待できる公共施設整備事業
 - ア 建築物又はプラントの整備・運営に関する事業
 - イ 利用料金の徴収を行う公共施設の整備・運営に関する事業
- ② 次のいずれかの事業費基準を満たす公共施設整備事業
 - ア 事業費の総額が10億円以上
 - イ 単年度の運営費が1億円以上

(2) 民間活用に関する庁内の検討プロセスの構築

優先的検討とは

優先的検討とは、公共施設等の整備等の基本構想、基本計画等の策定や公共施設等の運営等の方針の見直しを行うに当たって、多様なPPP/PFI手法の導入が適切かどうかを、自ら公共施設等の整備等を行う従来型手法に優先して検討すること。

国の示す「多様なPPP/PFI手法導入を優先的に検討するための指針」（優先的検討指針）において、公共施設等の管理者が運用する上での準則を定めている。

2 優先的検討プロセス

(1) 国指針よりも幅広い事業を対象

■ 優先的検討の対象事業分野

事業分野	優先的検討の取り扱い（対象／対象外）
ソフト事業／内部管理事務	優先的検討対象外 （個別検討事業）
施設整備・管理運営事業 （ハード事業）	原則すべて、優先的検討の対象 （インフラ整備や簡易な営繕等は個別検討事業）
公有財産利活用事業 （100m ² 以上）	原則すべて、優先的検討の対象
公有財産利活用事業 （100m ² 未満）	優先的検討対象外 （個別検討事業）

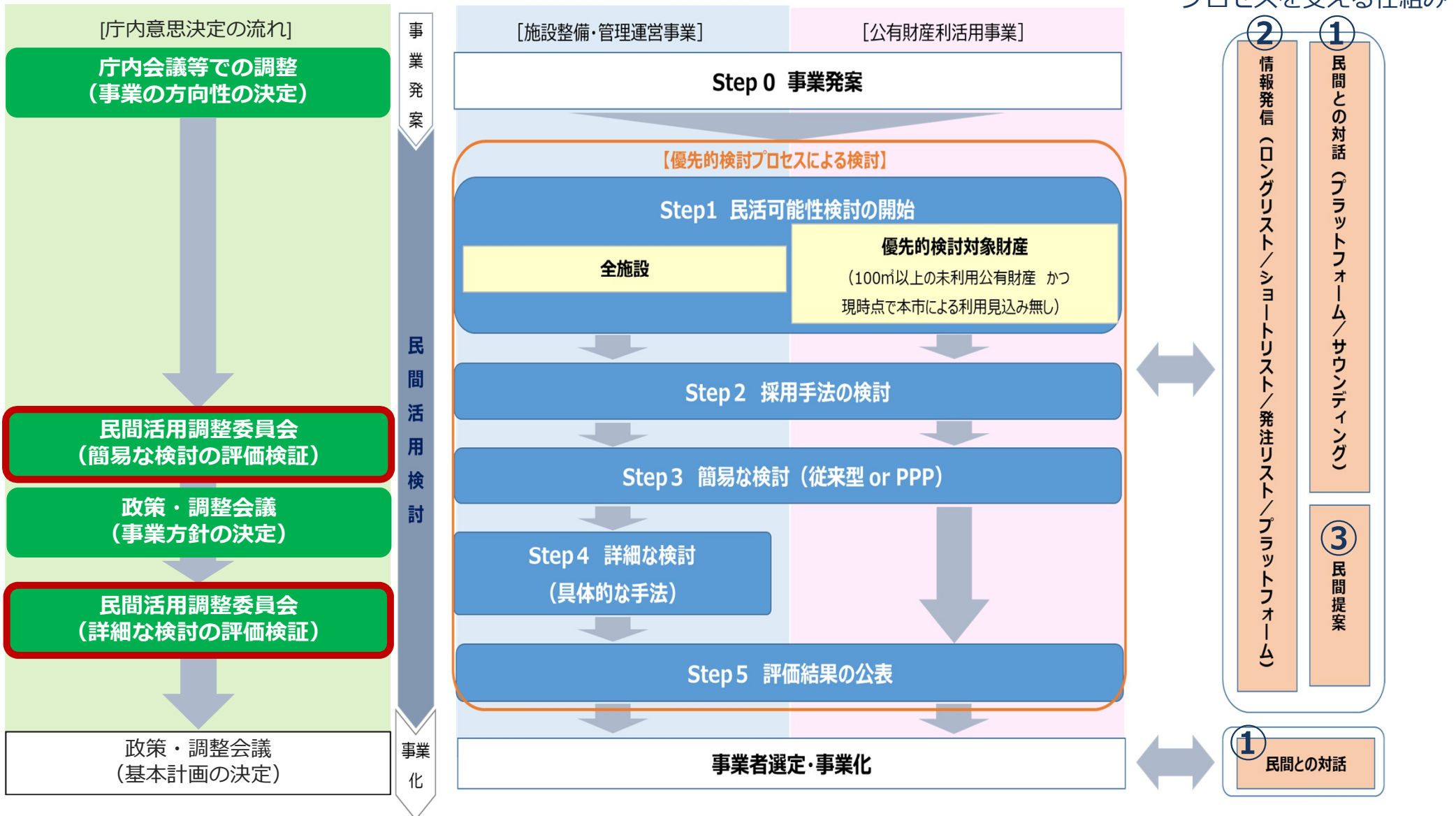
2 優先的検討プロセス

(2) 民間活用に関する庁内の検討プロセスの構築

■ 優先的検討プロセスによる検討の流れ

- 民間活用導入に係る検討を一定のルール、プロセスに基づき実施

プロセスを支える仕組み



1 民間活用（川崎版PPP）推進方針の概要

2 優先的検討プロセス

3 優先的検討プロセスを支える仕組み

- ▶ ① 民間との対話
- ▶ ② 情報発信
- ▶ ③ 民間提案
- ▶ ④ 地域経済活性化

4 方針の優れている点

5 民間活用の実践事例

6 最後に

3 優先的検討プロセスを支える仕組み

① 民間との対話

- 川崎市PPPプラットフォームの構築
- 民間との対話の実施方法



② 情報発信

- 方針のポイント
- リストの公表段階と公表内容
- リストの掲載内容
- リスト掲載状況の推移



③ 民間提案

- 基本的な方針
- 提案受付の形態
- 提案受付の要件
- 受付から採用可否決定までの流れ



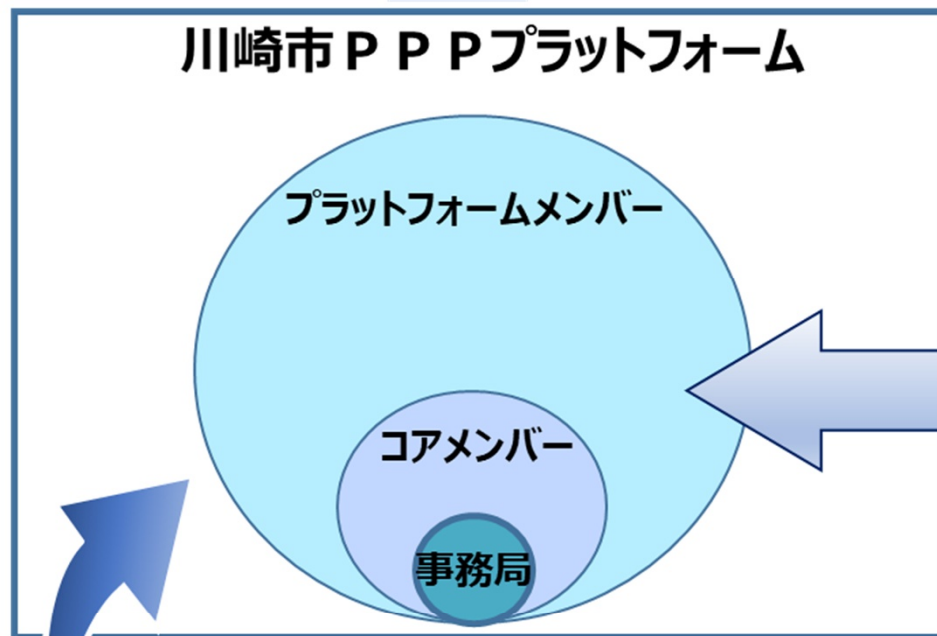
④ 地域経済の活性化

- 地域経済活性化に向けた取組

① 民間との対話

■ 川崎市PPPプラットフォームの構築

体制図



講師派遣や後援等の支援

■ 内閣府と国土交通省からの支援（PPP/PFI地域プラットフォーム協定制度の活用）

川崎市PPPプラットフォームは、PPP/PFI地域プラットフォームの協定制度による協定先となっており、両省からの講演や講師の派遣など、様々な支援を受けて、PPPを推進

★全国に先駆けて、令和元年5月に第1次協定先21ヶ所の1つとして協定締結

■ プラットフォームメンバー(約500者)

プラットフォームが実施する各種セミナーや研修等に参加を希望する市内外の民間事業者

■ コアメンバー(10団体)

- ・神奈川県建築士会 川崎支部
- ・神奈川県建築士事務所協会 川崎支部
- ・神奈川県測量設計業協会 川崎支部
- ・神奈川県ビルメンテナンス協会 川崎支部
- ・川崎建設業協会
- ・川崎市空調衛生工業会
- ・川崎市電設工業会
- ・川崎塗装業協会
- ・協同組合 川崎市建築家の会
- ・川崎市造園建設業協同組合

特徴

■ 事務局(5団体)

- ・日本政策投資銀行
- ・民間資金等活用事業推進機構
- ・川崎信用金庫
- ・横浜銀行
- ・川崎市(行政改革マネジメント推進室)

取組方針1 普及啓発・意識向上

- ✓ 官民パートナーシップによる事業推進に関する理解を深め、市の職員や民間事業者へ啓発する
- ✓ 地元企業が官民パートナーシップに参画する意義を把握し、参画する意欲を促す

取組方針2 ノウハウ習得

- ✓ 市の職員や地元企業が具体的な官民パートナーシップの事業手法を習得する

取組方針3 対話の実践

- ✓ 具体的な事業を通して、市と民間事業者との間で対話を実践する

① 民間との対話

■ 民間との対話の実施方法

- ・ より効率的・効果的な対話を行うため、2つの手法を用意



	川崎市PPPプラットフォーム	サウンディング
実施主体	行政改革マネジメント推進室	所管課
資料作成	所管課	所管課
実施方法	オープンな場での、複数事業者と所管課のグループでの意見交換	応募してきた事業者と所管課の個別の意見交換
準備負荷	所管課・参加企業とも準備の負荷が小さい	所管課・参加企業とも準備の負荷が大きい
特徴	<ul style="list-style-type: none">・ 参加のハードルが低く、様々な角度からの意見を集めやすい・ 参加者名簿の共有などで、参加者同士のコンソーシアム形成が促進されやすい・ オープンな場であるため、企業独自のノウハウ等について引き出しにくい	<ul style="list-style-type: none">・ 個別の意見交換であるため、具体的な提案を受けやすい・ 対話の際に資料作成等の準備が必要になるため、本気度の高い事業者が集まりやすい

② 情報発信

■ 方針のポイント

- 庁内の検討進捗に合わせたリストの作成・公表
- 検討の初期段階からプラットフォームやサウンディングを活用した情報発信

■ リストの公表段階と公表内容

リスト	公表段階 (優先的検討プロセスのステップ)		公表内容	
ロングリスト	STEP 1	民間活用の可能性がある事業で、具体的な事業内容が決定していない段階	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業分類 ● 事業名 ● 立地 ● 民間への期待事項 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業概要 ● 事業スケジュール  ※詳細化
ショートリスト	STEP 4	民間活用による事業化の方向性が決定し、当該年度に最適な事業手法の検討調査等の業務委託費用が予算計上されている段階		<ul style="list-style-type: none"> ● 事業概要 (事業スキーム等) ● 事業スケジュール (公募時期の見込みを含む)  ※詳細化
発注リスト	STEP 5	民間活用による事業の基本計画等の内容が決定し、発注に向けた具体的なスケジュールが確定した段階		<ul style="list-style-type: none"> ● 事業概要 (事業スキーム、リスク分担等) ● 公募スケジュール

② 情報発信

■ リストの掲載内容（事例：ロングリスト）

《川崎市HP掲載内容（例）》

川崎市における民間活用の可能性がある事業一覧表（ロングリスト）

令和5年12月現在

本一覧表は、**将来的に民間活用を図る可能性のある事業**を早い段階から周知し、民間事業者の皆様にも事業参画に向けての検討、準備を促すことを目的として作成・公表しているものです。
 総合計画等に位置づけがある事業や政策決定された事業のうち、優先的検討の対象となる**施設整備・管理運営事業（ハード事業）**及び**公有財産利活用事業**を中心に、個別検討事業等も含めた民間活用の検討の可能性のある**主な事業を掲載**しています。掲載されている事業は、民間活用を行うか否かを含めて検討を進めているものであり、スケジュールについても、**現段階で確定したものではありません**、想定スケジュールとして示しています。

分類…①ソフト事業、②施設整備・管理運営事業（ハード事業）、③公有財産利活用事業、④その他内部管理事務

NO.	掲載日	所管局	事業名等	分類	事業概要	スケジュール（想定）	民間事業者 zu 期待する事項	施設等の住所	備考	連絡先
1	4月18日	総務企画局 財政局	旧宮内職員寮（用地） の有効活用・処分事業	③	武蔵中原駅から徒歩約11分に位置する旧職員寮で、令和6年度以降の行政利用予定がないため、財源確保や地域活性化に資する手法の検討を進める。 構造：鉄筋コンクリート造 5階建て 延床面積：1,877.42㎡ 棟戸室数：1棟51室 建築年月：平成7年3月 土地面積：919.72㎡	R4~5:利活用の方向性整理（建物の解体の有無、貸付・売却の別（条件設定の有無）等 R6:利活用に向けた利用方針の決定 R7以降:利用方針に基づく利活用の推進	活用方針を決定するための3つの提案 1 建物を活かした提案、または建物の解体を伴う提案 2 賃貸借の提案、または買取りの提案 3 財源確保策に特化した提案、または 財源確保に加え、地域の活性化に資する取組を含む提案 （例／自然やスポーツが楽しめる等々力緑地周辺立地の活用、寮構造を活かした多文化共生も可能な住宅等で活用（ほか自由提案）	住所：中原区宮内2丁目7-5 地番：中原区宮内2丁目264-2	R5.10情報更新	資産運用課（有効活用） 担当：西脇 044-200-2083 23sisan@city.kawasaki.jp 労務厚生課（建物等現況）担当：伊藤 044-200-2139 17kosei@city.kawasaki.jp 公共施設総合調整室（劣化調査）担当：田坂 044-200-1227 17koukyo@city.kawasaki.jp
2	4月18日	財政局 子ども未来局	南部児童相談所跡地の有効活用	③	南部児童相談所跡地（更地）について、行政課題解決や市民サービス向上に資する活用ができるか検討を進めている。 地積：約920.47㎡	R4~5：利活用の方向性整理 R5~：利活用等に向けた利用方針の決定 R5~6：利用方針に基づく利活用等の推進	・市場性や活用方法に関する助言 ・財政的な効果、地域活性化に資する取組による活用の提案 ・条件付き売却や効果的な貸付手法等の有効活用手法の提案	川崎市川崎区藤崎1丁目6-3、4、14	R5.10情報更新	資産運用課（有効活用） 担当：西脇 044-200-2083 23sisan@city.kawasaki.jp 保育・子育て推進部 施設担当（財産所管） 担当：若松 044-200-3556 45suisin@city.kawasaki.jp

② 情報発信

■ リスト掲載状況の推移（例：富士見公園再編整備事業）

（１）ロングリスト(R2.6) ⇒本市で初めて公表したロングリストに掲載

NO.	掲載日	所管局	事業名等	分類	事業概要	スケジュール（想定）	民間事業者に期待する事項	施設等の住所	備考	連絡先
9		建設緑政局	富士見公園整備事業	②	都心における総合公園である「富士見公園」の機能回復を図り、施設の再編整備を進める。	R2:基本計画の策定検討 R3:以降、計画に基づく取組の推進	・民間活用の可能性の提案 ・施設を活用した収益事業の実施の可能性の提案 ・その他、整備にあたって財政負担を削減するための提案・助言	川崎市川崎区富士見1丁目、2丁目地内		みどりの保全整備課 担当：谷口、齋藤 044-200-2390 53mihoze@city.kawasaki.jp

（２）ショートリスト(R3.4.12) ⇒令和2年度中に「簡易な検討」を実施し、令和3年度より掲載

NO.	民活可否	掲載日	所管局	事業名	分類	事業概要	スケジュール（予定）	民間事業者に期待する事項／民間活用を検討しない理由	施設等の住所	備考	連絡先
6	可	令和3年4月12日	建設緑政局	富士見公園整備事業	②	都心における総合公園である「富士見公園」の機能回復を図り、施設の再編整備を進める。	R3:再編整備基本計画の策定以降、計画に基づく取組の推進	・公園施設の再編整備について ・公園内の一体的・横断的な管理運営手法等について ・民間収益事業について ・財政負担の削減について	川崎区富士見1丁目、2丁目地内		みどりの保全整備課 担当：小林（和）、小林（朋） 044-200-2390 53mihoze@city.kawasaki.jp

（３）発注リスト(R3.11.15) ⇒「富士見公園再編整備基本計画」公表とともに掲載

NO.	掲載日	所管局	事業名	分類	事業概要	スケジュール（予定）	民間事業者に期待する事項	施設等の住所	備考	連絡先
2	令和3年11月15日	建設緑政局	富士見公園再編整備事業	②	都心における総合公園である「富士見公園」の機能回復を図り、施設の再編整備を進める。	R3.11月中旬頃…実施方針の公表 R4.2月上旬頃…特定事業の選定 R4.3月下旬頃…入札公告、入札説明書等の公表 R4.9月中旬頃…落札者の決定及び公表	・公園施設の再編整備について ・公園内の一体的・横断的な管理運営手法等について ・民間収益事業について ・財政負担の削減について	川崎区富士見1丁目、2丁目地内		みどりの保全整備課 担当：北澤、小林（朋） 044-200-2390 53mihoze@city.kawasaki.jp

③ 民間提案

■ 基本的な方針

・ 全ての施策分野・事業分野において民間提案制度を活用

⇒民間独自の創意工夫やノウハウ及びアイデアによる事業の発案をより一層促し、
さまざまな事業への民間活用の適用につなげていく

■ 提案受付の形態

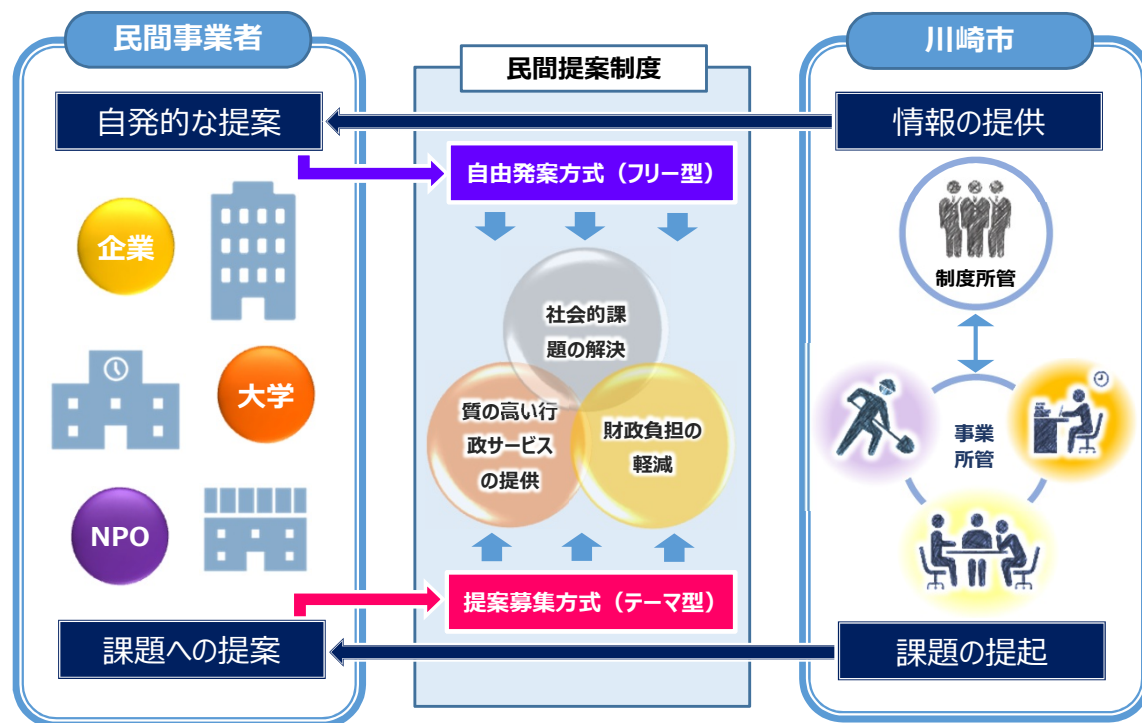
(1) 自由発案方式（フリー型）

⇒ テーマを問わず、自由な
民間活用事業の提案等を受け付ける

Point ワンストップ窓口

(2) 提案募集方式（テーマ型）

⇒ 事業の所管課がテーマを提示し、
民間活用事業の提案等を受け付ける



③ 民間提案

■ 提案受付の要件

要件1 対象要件

⇒ 質の高い行政サービスの提供、社会的課題・地域課題の解決、歳出の削減、歳入の増加、事務の改善・効率化、豊かな市民生活の実現、将来に向けての価値創造等、本市が抱える課題の解決に資する提案であること

要件2 財政要件

Point

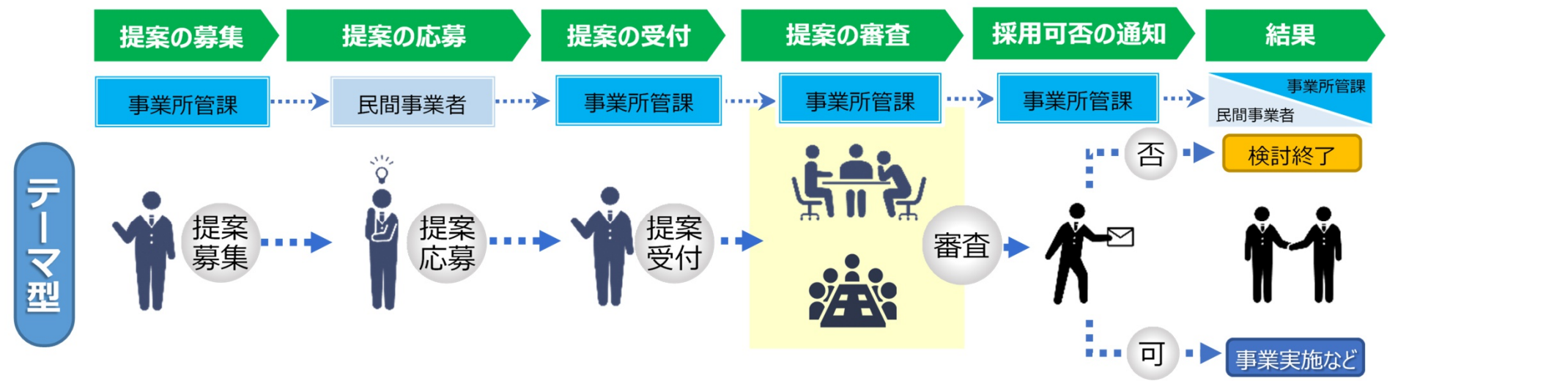
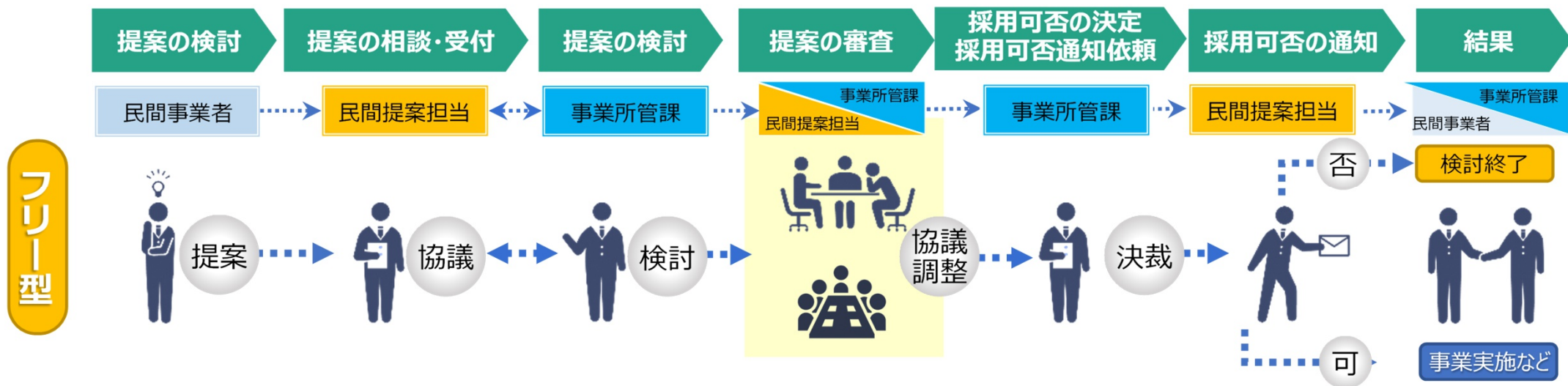
⇒ 本市に新たな財政負担が生じないこと（ただし、本市の財政支出を上回る効果のある提案（一時的な財政支出以上の歳出の削減、歳入の増加）は、受け付ける）

要件3 公益要件

⇒ 提案者及び提案内容が、公平性・公益性等の観点から妥当であること

③ 民間提案

■ 受付から採用可否決定までの流れ



④ 地域経済の活性化

■ 地域経済活性化に向けた取組

(1) 効果的な情報発信

- 民間活用に関する情報を、定期的に民間にメールニュースとして配信
- プラットフォームなどで、具体的な民間活用事業等に関する情報を発信
- 「ロングリスト」・「ショートリスト」の公表による案件情報の発信
- 個別事業に関する情報提供や意見交換会などの機会を設定

(2) 基礎知識の習得

- プラットフォームにおいて、有識者等による講演会、民間活用事業の仕組みや先進事例などを題材として扱うセミナー等を開催
- 市内事業者及び本市職員向けの勉強会を開催

(3) 多様な事業者とのJV組成の環境整備

- プラットフォームにおいて、市内事業者同士あるいは市内事業者と市外事業者との交流を促進 → 事業者の希望があれば、名簿を作成し共有

④ 地域経済の活性化

■ 地域経済活性化に向けた取組 **(事業者選定時)**

(1) 公募する事業、参画要件等検討時の留意事項

- 本市が公募する民間活用事業については、市内事業の強みが生きるような事業条件とするものとし、参画条件を設定するにあたって、業務実績を求める場合には、市内事業者の実態を十分に勘案する。

(2) 選定事業者による市内中小事業者への優先発注

- 選定された事業者が発注する請負工事、委託業務等については、本市と選定事業者との間で締結する事業契約書に、市内中小事業者へ優先発注することを努力義務とする規定を明記する。

(3) 事業参画時における事業者選定時の加点等

- WTO政府調達協定の適用対象外の事業については、技術的に困難な場合等を除き市内事業者を構成員とすることを要件化する。

又は

- JV・コンソーシアムの組成において、市内事業者が代表企業や構成企業として参画・連携することや、事業者グループが直接業務を委託する協力企業として市内事業者を選定することなど、加点点評価項目とする。

1 民間活用（川崎版PPP）推進方針の概要

2 優先的検討プロセス

3 優先的検討プロセスを支える仕組み

- ▶ ① 民間との対話
- ▶ ② 情報発信
- ▶ ③ 民間提案
- ▶ ④ 地域経済活性化

4 方針の優れている点

5 民間活用の実践事例

6 最後に

4 方針の優れている点

■ 方針の優れている点

- (1) 優先的検討プロセス
- (2) 民間との対話
- (3) 情報発信
- (4) 民間提案
- (5) 地域経済の活性化



システムティックに運用

⇒複数案件が成立

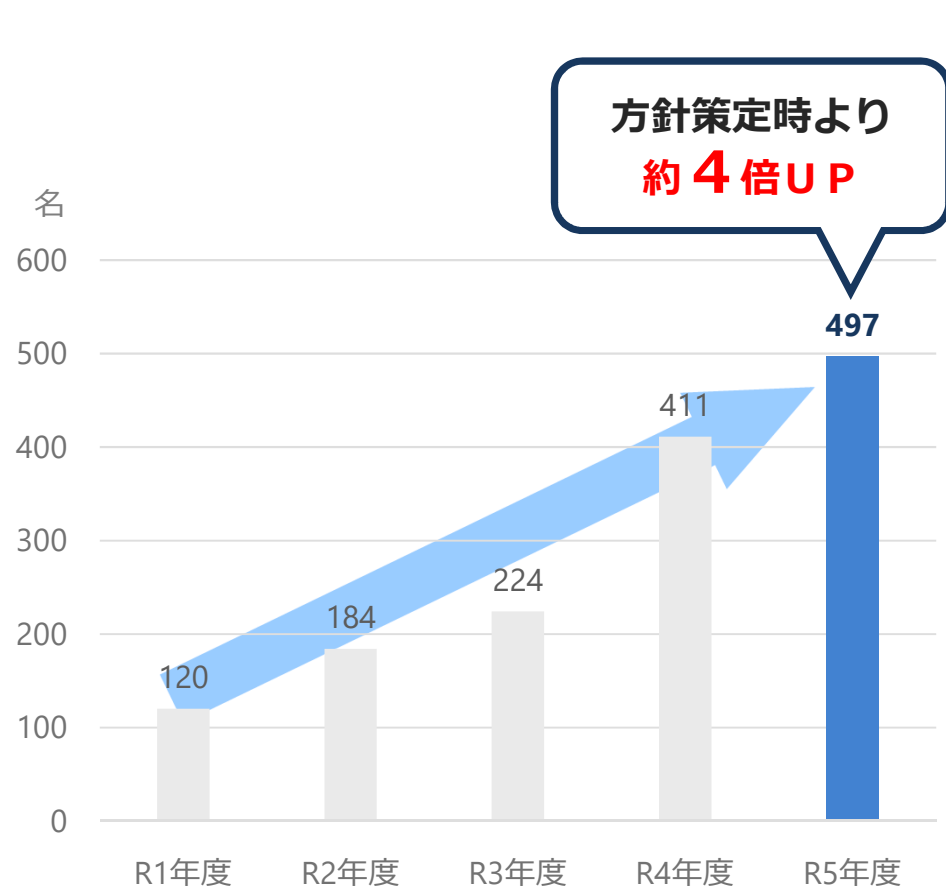
⇒市内事業者が参画

■ 方針策定後における民間活用事例（令和5年11月末時点）

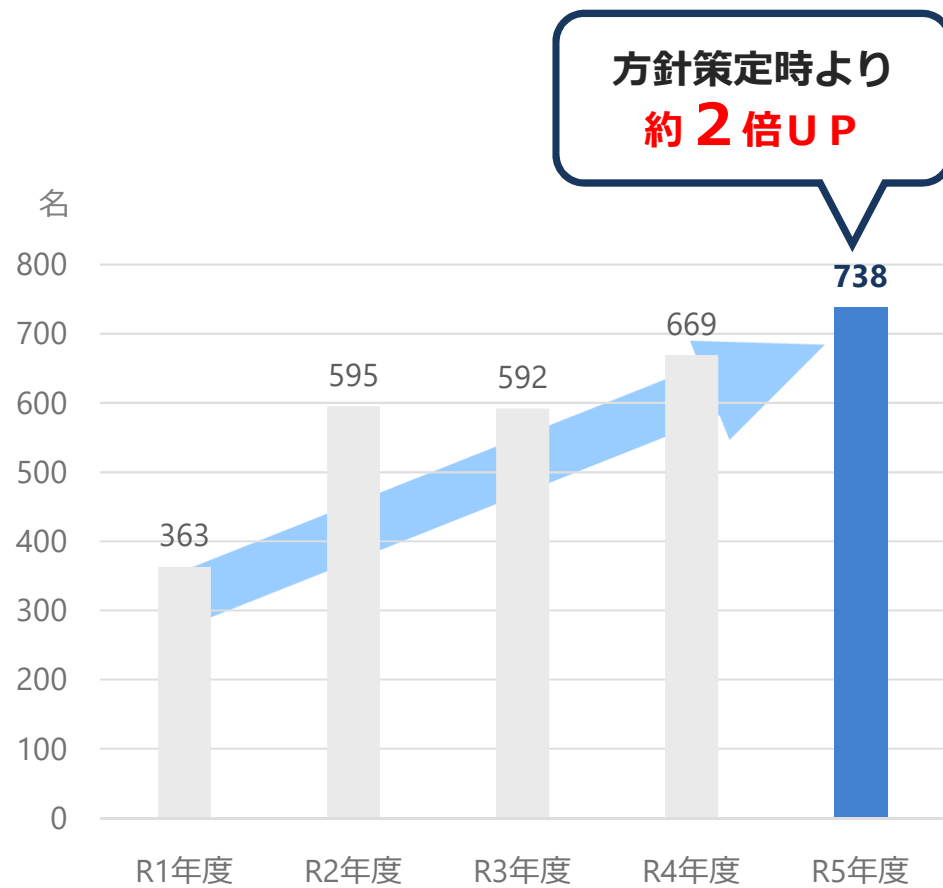
項目	件数	備考
事業者との対話	62件	PPPプラットフォーム39件、サウンディング23件
事業用定期借地	2件	KOSUGIiHUG（コスギアイハグ）（武蔵小杉駅）、他1件
PFI	2件	内1件コンセッション。ほか2件PFI導入手続中
Park-PFI	3件	ほか1件検討中
民間提案制度	15件	フリー型6件、テーマ型9件
河川空間オープン化	1件	9月に指定を受け、事業者選定中
包括管理委託	1件	契約手続中

4 方針の優れている点

■ 方針策定後における登録者数



PPPプラットフォームメンバー



メールニュース登録者数

① 民間活用（川崎版PPP）推進方針の概要

② 優先的検討プロセス

③ 優先的検討プロセスを支える仕組み

- ▶ ① 民間との対話
- ▶ ② 情報発信
- ▶ ③ 民間提案
- ▶ ④ 地域経済活性化

④ 方針の優れている点

⑤ 民間活用の実践事例

⑥ 最後に

5 民間活用の実践事例

■ 民間活用事例集（市HPで公開）

表紙

目次

民間活用事例集

川崎市における官民連携の事例



令和 5（2023）年 12 月

川崎市

公有地利活用～公有地を民間ならではのアイデアで有効活用します～

事例 0 1	川崎市総合自治会館跡地等活用事業	P. 6
事例 0 2	川崎駅西口大宮町地区 地区施設整備活用事業	P. 7

民間提案制度（フリー型）～民間の自由なアイデアを行政に～

事例 0 3	「かわさき健幸福寿プロジェクト」の参加事業所増加に係る取組	P. 8
事例 0 4	「課題解決型ローカル 5G 等の実現に向けた開発実証」に係る提案	P. 8
事例 0 5	Free pad dispenser OiTr の導入に係る提案	P. 1 0

民間提案制度（テーマ型）～本市の事業に民間のアイデアを募集します～

事例 0 6	道路等を実証フィールドとして提供	P. 1 1
事例 0 7	橋公園のさらなる魅力向上のための日西部公園事務所の有効活用に向けた社会実験の事業者を募集	P. 1 3
事例 0 8	AI を活用した救急隊の現場到着時間短縮に向けた実証実験	P. 1 4
事例 0 9	多摩川丸子橋河川敷の新たな利活用に向けた社会実験	P. 1 4
事例 1 0	学校施設のさらなる有効活用に向けた新たな施設管理の実証実験	P. 1 5

PFI 事業～民間のアイデア、ノウハウを活かした効率的・効果的な公共サービスの提供～

事例 1 1	黒川地区小中学校新設事業（はるひ野小中学校）	P. 1 6
事例 1 2	川崎市多摩スポーツセンター建設等事業	P. 1 7
事例 1 3	川崎市立小学校及び聾学校冷房化等事業	P. 1 8
事例 1 4	スポーツ・文化複合施設整備等事業	P. 1 9
事例 1 5	（仮称）川崎市南部学校給食センター整備等事業	P. 2 0
事例 1 6	（仮称）川崎市中部学校給食センター整備等事業	P. 2 1
事例 1 7	（仮称）川崎市北部学校給食センター整備等事業	P. 2 2
事例 1 8	等々力緑地再編整備・運営等事業	P. 2 3
事例 1 9	富士見公園再編整備事業	P. 2 4

P-PFI 事業～民間のアイデアによる都市公園の魅力向上～

事例 2 0	皐橋水江町線沿道及び池上新町南緑道の一体利用による地域環境改善事業	P. 2 5
事例 2 1	橋公園の魅力向上に向けた Park-PFI 事業	P. 2 6

5 民間活用の実践事例

■ 川崎市総合自治会館跡地等活用事業

地域課題解決型の土地利用

事業方式	事業用定期借地権設定契約	
事業期間	令和3（2021）年4月1日～令和25（2043）年10月31日（借地期間）	
施設名称	KOSUGI iHUG（コスギ アイハグ）	
施設概要	シェアリングファーム（農業施設）、飲食施設、地域交流スペース、保育施設、産前産後ケア施設、クリニック	
事業者	代表企業 構成員	東レ建設株式会社 <u>株式会社ナチュラ（市内）</u> 、一般社団法人クレイドル、 東洋コミュニティサービス株式会社



イメージ図

5 民間活用の実践事例

■ 等々力緑地再編整備・運営等事業

PFI手法 × コンセッション

事業方式	PFI (BTO+RO) 方式 ※一部施設に公共施設等運営権を設定		
事業期間	令和5 (2023) 年3月31日～令和35 (2053) 年3月31日まで		
落札金額	57,697,000,000円 (税抜)		
V F M	12.2% (特定事業選定時)		
施設種別	公園	事業面積	約 43.5ha
事業者	川崎とどろきパーク株式会社 【東急株式会社、 <u>富士通株式会社 (市内)</u> 、丸紅株式会社、オリックス株式会社、 <u>株式会社川崎フロンターレ (市内)</u> 、グローバル・インフラ・マネジメント株式会社、大成建設株式会社、株式会社フジタ、東急建設株式会社】		



イメージ図

5 民間活用の実践事例

■ 富士見公園再編整備事業

市内事業者が代表企業

事業方式	PFI (BTO) 方式 + Park-PFI		
事業期間	令和4 (2022) 年 12 月 15 日 ~ 令和 25 (2043) 年 3 月 31 日まで		
落札金額	5,277,470,000 円 (税込)		
V F M	7.0% (特定事業選定時)		
施設種別	公園	事業面積	約 11.8ha
事業者	富士見パークマネジメント株式会社 【株式会社川崎フロンターレ (市内)、フロンティアコンストラクション & パートナーズ株式会社、株式会社松尾工務店、株式会社山根工務店 (市内)、フロンティアコンストラクション & パートナーズ株式会社 (Park-PFI 担当企業)】		



公園全体鳥瞰図



交流の場となるエントランスゾーン



緑にふれあえる憩いと語らいのゾーン

イメージ図

5 民間活用の実践事例

■ 橋公園の魅力向上に向けたPark-PFI事業

テーマ型民間提案 × Park-PFI
市内事業者を選定

事業方式	Park-PFI
事業期間	令和 5(2023)年 3 月 31 日 (基本協定締結) 最長 20 年 (公募設置等計画の認定の有効期間)
施設種別	公園
施設等概要	【橋公園】※現在、市直営管理 面積：16,916 m ² 、既存施設：ベンチ・トイレ・滑り台 等 【旧西部公園事務所】 建築年：昭和 55 (1980) 年 3 月 (築 42 年) 延床面積：1 階：220.54 m ² /2 階：159.28 m ²
事業者	<u>合同会社ピークスタジオ一級建築士事務所 (市内)</u>



イメージ図

5 民間活用の実践事例

■ 学校施設のさらなる有効活用に向けた新たな施設管理の実証実験

公共施設の有効利用 × デジタル化

「学校施設有効活用事業」において利用頻度が比較的低い特別教室等を、市民が勉強や仕事、趣味、地域活動などの場としてさらに活用できるための取組を進めている中で、主な課題となる「セキュリティ管理」や「利用手続の簡素化及び予約状況の可視化」を解決する手段を検討するため、実証実験を市と連携して実施していただける事業者を募集・実施したものの。

事業方式	民間提案制度（テーマ型）
事業者	株式会社構造計画研究所
事業対象校	5校（市立小学校：3校、市立中学校：2校）



小杉小学校に設置された「RemoteLOCK」



菅小学校に設置された「鍵ボックス」

1 民間活用（川崎版PPP）推進方針の概要

2 優先的検討プロセス

3 優先的検討プロセスを支える仕組み

- ▶ ① 民間との対話
- ▶ ② 情報発信
- ▶ ③ 民間提案
- ▶ ④ 地域経済活性化

4 方針の優れている点

5 民間活用の実践事例

6 最後に

6 最後に

■ 関係者の皆様のご協力

幅広く意見聴取

- 方針策定にあたり、業者登録をしている事業者の皆様へのアンケート調査、学識経験者による専門的な会議の開催、パブリックコメントの実施
⇒様々な方々からの意見を反映（地域プラットフォームの設立など）

学識経験者等で構成された附属機関

- 方針及び方針に基づく事業の評価については、附属機関に定期的に進捗報告
⇒アドバイスやご指摘をいただきながら推進

■ さらなる推進に向けて

市職員の意識の醸成

- 民間活用は事業の目的を達成するための『手段』の一つ ⇨ 民間活用の導入が目的
- 事業者の参画意欲は、市職員の熱量に比例 ⇒まだまだ、市職員の意識の醸成が必要

市と民間が「公共」を共に創り上げる『共創』社会の実現を目指します！！

ご清聴ありがとうございました！



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

COLORS,
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



Green For All
KAWASAKI
2024

2024年、川崎市は市制100周年をむかえます。